職種：企画・営業　　職務：警備企画

【概要】

　顧客や警察・消防等の関係者と折衝・調整、情勢に応じて警備体制を見直して、警備計画書や警備指令書等を作成し、計画に即した警備体制及び配置、運用を整える仕事。

【仕事の内容】

顧客ニーズの把握や関係者と調整を行いながら、警備体制及び配置、運用を考慮して警備計画書、警備指令書等を作成する仕事である。

警備計画の作成にあたっては、顧客のほか警察・消防等の行政機関との密接なコミュニケーションが欠かせない。特に大規模イベントの警備等の場合には、関係者が多岐にわたるため、早い段階からの連携が重要で、警備の基本方針や具体的な実施方法について十分な調整を行うようにする。また、現場統括者等からの情報や実地調査を通じて、現場状況を的確に把握することも必要である。

実効性の高い警備計画書を作成するためには、顧客や関係者のニーズを踏まえることに加え、現場の状況に適切に対応できるようチーム編成行うことが重要である。そのため社内メンバーの能力や気質等の把握も欠かせない。

【求められる経験・能力】

1. 的確な警備プランを作成するためには、警備現場の経験が豊富で警備業務に精通していることが不可欠である。
2. 顧客や警察・消防など行政機関との連携が不可欠となるため、多方面の関係者との間に人的ネットワークを構築し、日頃から十分にコミュニケーションをとっておくことが求められる。
3. 顧客ニーズに沿った警備体制及び配置、運用というチーム編成を行う業務のため、メンバーの能力や気質、経験等を把握していることが必要である。

【関連する資格・検定等】

* 警備業務検定（空港保安警備業務、施設警備業務、雑踏警備業務、交通誘導警備業務、貴重品運搬警備業務、核燃料物質等危険物運搬警備業務、各１級・２級）〔警察庁　警備業法〕
* 警備員指導教育責任者（１号～４号業務）〔警察庁　警備業法〕
* 機械警備業務管理者〔警察庁　警備業法〕
* セキュリティ・プランナー、セキュリティ・コンサルタント〔一般社団法人 全国警備業協会〕

　　など

【厚生労働省編職業分類（小分類）との対応】

０３１　会社の管理職員

２５７　総合事務員

４５３　警備員

４５９　他に分類されない保安の職業